

## 2024 年度研究発表会、現地見学会－三好コース－の案内

### 【現地見学会－三好コース】

期日：10月12日（土）

見学地：徳島県と高知県の県境の『有瀬地すべり』、結晶片岩からなる大歩危峡ほか  
定員 20 名，参加費 6,000 円

JR 高松駅 7：45 集合，阿波池田駅・高松空港経由，高松駅 17:30 解散

申し込み方法：定員制で先着順となります。下記アドレスないし右の

Google フォームにて、申し込みください。振り込み先（中国四国支部）  
の案内もあります。 <https://forms.gle/q7L9T5pWVq5FH8Bo8>



参加費の振り込みは10/8（火曜日）までにお願いします。領収書は振り込み確認後、メールにて PDF 版を送付します。原本を要望の方には見学会当日お渡しします。

CPDについて：CPD 証明（予定 3.3 時間）は、見学会の当日、解散前にお渡しします。

### 【支部からのコメント】

見学会では、国の名勝に指定されている大歩危峡で、結晶片岩からなる三波川帯の礫質片岩露頭を観察し、また、大股で歩いても、小股で歩いても危険なことから名付けられたといわれている大歩危溪谷の溪谷美を堪能していただきます（写真 1）。

有瀬地すべりは変位が活発であった地すべりで、構造物の変状を中心としたダイナミックな動きを見ることができます。抑制工を中心とした対策がすでに実施されており、スーパーウェルポイント工、ディープウェル工といった通常ではあまり見ることができない対策工や排水トンネルも実施されています（写真 2、3）。

写真 1 吉野川の大歩危峡谷、  
砂質片岩が懸崖をなす箇所が多い



写真2 有瀬地すべり地  
と  
その上方の有瀬  
集落（山の斜面に  
点在する集落は古来、  
ソラと呼ばれ、  
有瀬もその1つ）



a. ブロック積み擁壁の地すべり変状



b. 道路沿いの擁壁の亀裂測定



c. 地すべり地では珍しい、ディープウェル工



d. 同じく、スーパーウェルポイント工

写真3 有瀬地すべりの変状と対策工の例